

様式第 4 号その① (第 6 条関係)

令和 6 年 4 月 1 日

宗像市長 伊豆美沙子様  
(宗像市議会議長経由)

議員名 吉田剛

政務活動費収支報告書

宗像市議会政務活動費の交付に関する条例第 5 条第 1 項の規定により、別紙  
のとおり令和 5 年度政務活動費収支報告書を提出します。



令和5年度政務活動費収支報告書

議員名 吉田 剛

1 収入

政務活動費 264,000 円

2 支出

(単位：円)

項目	領収書額	政務活動費報告額
研修開催費	0	0
調査研究費	80,700	80,700
資料作成及び資料購入費	0	0
広報及び広聴費	193,120	183,300
人件費	0	0
事務所費	0	0
合計	273,820	264,000

3 残額

0 円

4 添付書類

領収書等証拠書類

(様式1)

令和5年度 政務活動費明細書

(単位:円)

No	内容	項目	費目											領収書額	政務活動費 報告額	
			旅費	講師 謝金	出席 負担金	印刷 製本費	図書 購入費	備品 購入費	消耗 品費	使用料	郵送料	手数料	賃金			その他
1	印刷費、データ作成費	広報及び広聴費				61,600						40,000			101,600	96,520
2	ポスティング代金	広報及び広聴費										66,000			66,000	62,700
3	ホームページ代金	広報及び広聴費										25,520			25,520	24,080
4	視察	調査研究費	71,700												71,700	71,700
5	全国市議会議長会研究フォーラム	調査研究費			9,000										9,000	9,000
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																
合 計			71,700		9,000	61,600						131,520			273,820	264,000

研修開催費		
調査研究費	80,700	80,700
資料作成・資料購入費		
広報及び広聴費	193,120	183,300
人件費		
事務所費		
合 計	273,820	264,000

領 収 証

吉田 剛 様

¥ 50,800 -

収入印紙

但 し印刷代 (税率10% 税抜金額 58,000円) 消費税額 2,800円

上記金額正に領収致しました Go!Go!News!!35号

令和 5 年 11 月 13 日

内 訳	
現金	円
小切手	円
手形	円

福岡県宗像市田熊六  
DD ニシム

TEL (0940) 36  
FAX (0940) 36

登録番号 T68/0236923594

取扱者印

領 収 証

吉田 剛 様

¥ 50,800 -

収入印紙

但 し印刷代 (税率10% 税抜金額 58,000円) 消費税額 2,800円

上記金額正に領収致しました Go!Go!News!!36号

令和 5 年 11 月 29 日

内 訳	
現金	円
小切手	円
手形	円

福岡県宗像市田熊六  
DD ニシム

TEL (0940) 36  
FAX (0940) 36

登録番号 T68/0236923594

取扱者印

領 収 書

令和 6 年 3 月 26 日

吉田 剛 様

〒819-0161  
福岡市西区今宿東

税込合計金額	¥40,000—	税率	10%	消費税額	¥3,636
--------	----------	----	-----	------	--------

品名	数量	単価	金額 (税抜)			
1. Go! Go! News!! 35号 A4 (1+1) 編集/印刷用完全データ作成/web公開用データ作成	一式	---			18	182
2. Go! Go! News!! 36号 A4 (1+1) 編集/印刷用完全データ作成/web公開用データ作成	一式	---			18	182
3.						
4.						
5.						
6.						
7.						
8.						
備 考	消費税額				36	36
	合計				36	364

領 収 証

No. 406

吉田 剛 様

26年 3月 28日



¥ 66,000-

但 ポストイット @ 5 × 12,000枚  
上記正に領収いたしました



内 訳

税抜金額

消費税額等 ( % )

**Chocotto** 編集部

〒811-3425 宗像市日

TEL 090-



今年50歳。  
節目の年に  
新たな挑戦を！

35号のテーマは  
再生と進展です。

# Go! 剛! NEWS!!

政務調査報告書

第35号

## ■ 都市再生で定住都市むなかたの実現を！

令和5年度の施政方針(市の考えや方向性を示したもの)の最終目的は「定住都市むなかたの実現」です。そのために都市再生の推進が重要であり、**団地の再生と公共交通**がポイントです。宗像は立地がよく、自然、歴史、食などコンテンツに恵まれ、住環境が整っていますが、満遍なくいい、なんとなく住みやすいまち、のイメージがあります。定住都市むなかたを実現するには、コンセプトを明確にして、ブランディングを行い、価値を伝えることが必要です。



さとのはhinosatoは「人と自然を近くする、サトヤマのある日々」というコンセプトにより、同じ価値観を持つ方が反応し、驚異的なペースで入居が進みました。これは定住都市むなかたが目指すモデルになると感じます。

**団地の再生**において、日の里地区都市再生ビジョンは、JR東郷駅周辺の土地利用や日の里大道路の一体的な活用などを日の里地区まちづくり委員会等の意見を反映し作成されます。駅前のエリアマネジメントに取り組む団体はひのさと暮らしLABOとCoCokaraひのさとを運営する特定非営利活動法人まちづくり宗像が担います。私もこの団地再生チームのプレイヤーとして同心協力します。

**公共交通**において、将来を見据えて持続可能な交通体系をつくと同時に、公共交通を守るため利用しようという市民意識の醸成も必要です。のーとは利用者、アプリ登録共に増加しており、CoCokaraひのさとに相談窓口、まちづくり宗像に予約受付を依頼することによりサービスと愛着が向上していくと思われまます。この取組からののーとの範囲や公共交通の意識を広げることが宗像全土の交通再編につながると考えまます。

私が考える定住都市むなかたの目指す姿は、「宗像で育ち、外に出て、子育てで戻るまち」です。宗像の風土で生れ育ち、宗像を出て見聞を広めた後に、宗像でこどもを育てたいと選ばれるようなまちです。都市再生と共に魅力を際立たせる施策を展開し子どもを育てる、価値観が内に根付き外に伝わることで唯一無二のまちになると考えまます。

ご意見、ご感想などメッセージ頂ければ励みになります！

 日々の活動はfacebookにて  
[fb.me/goyo4da](https://fb.me/goyo4da)

 吉田ごうのホームページ  
[non3.jp/yoshidago](https://non3.jp/yoshidago)

 一般質問の会議映像は  
宗像市役所HPにて

## 民間事業者と連携して島の進展を！

甘夏の耕作地を開拓！木を切り、重機で運び、整地をして苗を植えます。私はチェーンソーで木を切る役目。島の住民が自由自在に重機を操り、島外人材の植栽のプロと伐採し、島内外で力を合わせます。

令和5年度施政方針では、離島の振興について、民間事業者の連携や島外人材の積極支援策を打ち出しています。近年は、島外からの事業者や団体からの働きかけが多く見受けられ、島の魅力をブランディングし、活性化のエンジンとするチャンスだと感じます。

大島では世界遺産の絶景を楽しめる乗馬、10月にオープンするバギーグランピング施設、民泊、旧村役場をリノベーションしたコミュニティスペースなど多様な動きがあります。

また、団地再生のチームメイトが立ち上げた2つの団体を紹介をします。

「実践共同体COP大島」は、当事者意識を持っている島内外の関係者が参画し、高齢化や人手不足などの地域課題に長期的に取り組む仕組みづくりが目的です。まずは耕作放棄地の甘夏の栽培を行い、大島ブランドの構築に取り組みます。

「株式会社大凧」は農業、漁業、民泊を実践しながら、地域同士の連携を図ることで、人々のひっつきわぎを生かせる地域づくりをプロデュースから運営まで行い、地域と一緒に実現していくことを目指しています。島全体の伝統の継承、そして経済の活性化を両立させながら、地域間ネットワークとそれに伴う新たな都市経済圏をつくっていきます。

島を活性化するには、このような人財と同じ熱量で共に活動していくことが必要で、この大きなチャンスを逃してはならないと感じています。私は20代に屋久島で、各地から集った若者と自給自足の生活で畑仕事をしていました。その経験を懐かしく感じながら50代の挑戦として、この島活動を手伝っていきます。

## 吉田こう 議員活動ダイジェスト

1月 50代になる節目の年。十年一昔といいますが、10年タームの目標を考えました。会派・志政クラブの視察では東京で各省庁からのレクを受け、官僚の方々に地方の実情を伝え、議論しました。ついでに皇居ランを楽しみました。

2月 市政報告会を行いました。コロナ禍を経て4年ぶりの開催です。顔をあわして話が出来ることに感謝。ひのさと48では行政視察の対応から、伐採した木の処理まで全身使って活動します。

3月 定例会の予算審議では、アフターコロナの宗像がどうあるべきか、という視点から各種事業について質疑しました。

### 宗像市議会議員 吉田こう

昭和48年 3月、宗像市田熊生まれ  
東郷小学校～中央中学校卒業  
平成3年 宗像高校卒業  
平成8年 福岡大学経済学部卒業  
平成8年 株式会社トランスオービット(旅行業)  
入社、平成24年6月退社  
平成24年 10月、宗像市議に初当選  
令和2年 宗像市議に三選を果たす  
現 在 宗像市久原に在住



元祖国際都市・  
宗像のあるべき  
姿をかんがえます。



姉妹都市・金海市の  
伽椰文化祭に  
招待されました。

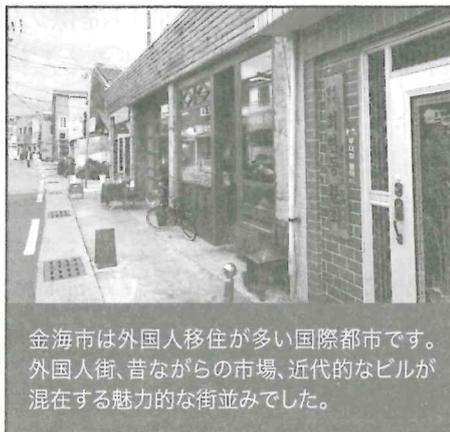
# Go! 剛! NEWS!!

政務調査報告書

第36号

## 外国人の労働者、児童・生徒への対応は？

全国の外国人労働者は、少子高齢化、人手不足の解消のため、大幅に増加しています。宗像市の外国人割合は増加しているものの853人、県内で72市区町村中51位と低く、国籍別では、韓国、中国、近年はベトナムとネパールが増加。在留資格は特定技能・技能実習が多い状況です。住宅都市という性格上、商業・工業都市に比べて割合は低いですが、今後、特定技能2号の拡大によって、農業、漁業、食料品製造などの分野で配偶者と子どもの帯同や在留期間の延長も可能になり外国人労働者、それに伴う子どもは更に増加することが予測されます。



金海市は外国人移住が多い国際都市です。外国人街、昔ながらの市場、近代的なビルが混在する魅力的な街並みでした。

全国で日本語指導の必要な子どもは5万8千人、10年で1.7倍に増加、2割以上が特別な指導を受けることができていません。宗像市においては、母国語が9か国語に及ぶ20人(小学校6校13人、中学校3校7人)が日本語指導を必要としています。県の日本語指導教員と市の学力向上支援員が二人だけで巡回指導、授業は担任の先生が身振り手振りを交えて普通学級で行っています。外国人の対応が加わることでクラス全体に目が届かなくなることもあり、支援が必要ですが国県は対応ができていません。「市が独自で日本語指導教員の人員を確保して配置すべき」と強く訴えました。またIT技術やむなかた日本語教室、大学生など外部人材を活用して国籍に関係なく子どもが学び経験できるグローバルな教育環境をつくるべきです。

外から宗像を見た特徴は「寛容性」、自然や状況、新しいものを受容れること、だと言われます。古来、自然と向き合い、大陸との玄関口であったという素地が寛容性を育てたのではないかと、思います。ダイバーシティインクルージョン(多様な人材を受け入れ、能力を発揮させる)が推進されていますが、寛容性が不可欠とされています。これは時代が求める感覚であり、伸ばすことで労働力が確保され、多様性を持つ子供が育つ、新しい宗像の豊かさになると考えます。

ご意見、ご感想などメッセージ頂ければ励みになります！

日々の活動はfacebookにて  
[fb.me/goyo4da](https://fb.me/goyo4da)

吉田ごうのホームページ  
[non3.jp/yoshidago](http://non3.jp/yoshidago)

一般質問の会議映像は  
宗像市役所HPにて

## ■ アフターコロナの地域伝統行事の価値は？

国は文化保護法を改正し、地域に根差した伝統行事などの未指定の文化財を保護の対象としました。宗像市では、世界文化遺産の顕著な普遍的価値である宗像三女神信仰の祭礼が形をかえつつ受け継がれ、暮らしに溶け込んだ行事として地域に根差しています。しかし、担い手不足、経費不足、地域住民の理解不足、さらにコロナ禍によりノウハウの継承や後継者の育成が中断された上に、祭りの必要性の考え方の違いから再開できないという状況もあり、存続の危機に瀕しています。神職の方から「神郡宗像の特徴はたくさん神社があるだけでなく、氏子や地域住民がそれぞれの祭りをを行い伝統を継承していること」とお聞きしました。祭りなどの伝統行事の継承は、アイデンティティであると同時に、地域住民の結束力を高め、未来の担い手である子どもたちを育てることにつながります。そのために、自分達の祭りは自分達でというスタンスはまもりつつ、課題を減らす仕組みが必要です。

国は地域文化財総合活用推進事業でコロナ禍特例として支援を行っていますが、申請手続きが非常に複雑で専門知識が必要でした。そこで、宗像市全体の地域伝統行事の継承の窓口となる団体を作り、手続きと情報提供の支援を行うよう強く要望しました。県は地域伝統行事お助け隊事業において、担い手となる人材を県内外から募集して、登録・派遣します。それぞれに適した人材を派遣する調整役が重要になり、ここでも窓口となる団体をつくる必要があると考えます。市の文化芸術活動事業補助金は期限が3年です。継続という目的を考えるとこの期限は見直しが必要だと訴えました。

宗像の精神性が具現化された地域の祭りは誇るべき価値です。コロナ禍でこの価値が明確になったことをポジティブに捉えて、継続の仕組みを作り、アフターコロナの新たな豊かさにつなげていきたいと思います。



祭りのある地域は元気だと言われます。示現神社のお祭りの田熊山笠とおくだりは子どものころから参加してきました。コロナ禍の影響を大きく受けましたが、一部の形を変えながら継承されています。

## 吉田ごう 議員活動ダイジェスト

- 4月 花見や入学式、個人的な20年の区切りもあり、あらたなスタートを感じます。
- 5月 韓国・金海市の伽椰文化祭に招待されました。昨年30周年を迎えた姉妹都市交流ですが、最初の議員訪問団に父が参加していた、と聞き縁を感じます。後援会の会長で長年支えて頂いた吉原勤三さんがご逝去されました。吉原さんのように心からありがとう、と言えるような人になりたい、と思います。
- 6月 田熊山笠の総決起集会で今年は4年ぶりに通常の行程で運行。東郷小では山笠教室とてっぽう作り。コロナ禍を乗り切った実感がわきます。



### 宗像市議会議員 吉田ごう

昭和48年 3月、宗像市田熊生まれ  
東郷小学校～中央中学校卒業  
平成3年 宗像高校卒業  
平成8年 福岡大学経済学部卒業  
平成8年 株式会社トランスオービット(旅行業)  
入社、平成24年6月退社  
平成24年 10月、宗像市議に初当選  
令和2年 宗像市議に三選を果たす  
現 在 宗像市久原に在住

領 収 証

No. 405

吉田 剛 様

R6年 3月 28日

★ ￥25,520-

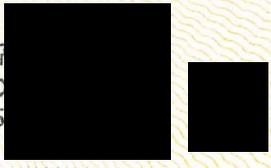
但 HP 管理料  
上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等( %)

Chocotto 編集部  
〒811-3425 宗像市日の  
TEL 090-75



吉田 とう  
プロフィール

地域が輝く  
まちづくり

スポーツで輝く  
まちづくり

子どもが輝く  
まちづくり

未来が輝く  
まちづくり



みなさま、宗像市議会議員、吉田剛のホームページによるごぞ。

世界遺産「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群に登録された宗像市は、古来、日本と世界をつなげる玄関口でした。

先人達はこの宗像から海の道を通り、未知の大陸へ航海をした、と言われていました。

このホームページがあなたと私をつなげるゲートウェイになり、情報や考えを交流させ、時代の潮流にのった未来への道を創造する第一歩になれば、と思っています。



ワンチームで新しい宗像へ  
**速く・強く・熱く。**  
吉田とうは走り続けます！



### 吉田とう facebook.



### PROFILE プロフィール

- 昭和48年 宗像市田熊町に生まれる
- 昭和60年 車郷小学校卒業（軟式野球・宗像ジュニア）
- 昭和63年 中央中学校卒業
- 平成3年 宗像高校卒業（宗像高校ラグビー部）
- 平成8年 福岡大学経済学部卒業（福岡大学ラグビー愛好会）
- 在学中、1年休学してワーキングホリデーでカナダへ。
- ユーコン川カヌー単独行後、自転車でカナダからアラスカへ。
- バンクーバーアイランドにて馬の牧場で働く。
- 帰国後、屋久島やモンゴルなど旅を続ける
- 平成8年 興トランスオービット(旅行業)入社、福岡所長、大阪支店長。を経て平成24年6月退社
- 平成24年 宗像市議に初当選
- 平成28年 宗像市議に再選（2回目）
- 令和2年 宗像市議に再選（3回目）
- 現在 宗像市久原に在住
- \* 宗像市議会副議長
- \* 車郷地区青少年指導員会長
- \* 玄海ジュニアラグビークラブ・宗像高校ラグビー部にてコーチ、玄海オールドハイレッツにてプレイ
- \* 田熊山笠節代、車郷小学校グスタティーチャー（山笠教室）
- \* 趣味：ラグビー、マラソン、旅行、園芸

### GO! 剛! NEWS!!

古来、宗像は和の精神で人が共存し自然と調和する豊かな精神性が息づき、宗像人の謙虚なやさしさを土壌に、地域特性が育ってきました。現在、少子高齢化により社会の常識や経済の前提は劇的、大きな変化を求められています。地方が持続するには自治体間の競争で勝ち抜き、自立する必要があります。未来に向けて、宗像の特性をアイデンティティとして確立する。その誇りを胸に協力し、時代の荒波を乗り越える姿を「新しい宗像」としてビジョンを示し、GO! 剛! ニュースで伝えてきました。新しい宗像はアフターコロナの世界の道標となります。市民のみならず、企業・行政と力をあわせ、ワンチームで創っていきましょう。

クリックすると内容をご覧ください。



吉田 とう  
プロフィール

地域が輝く  
まちづくり

スポーツで輝く  
まちづくり

子どもが輝く  
まちづくり

未来が輝く  
まちづくり



### 地域が輝くまちづくり

自治体間競争を勝ち抜くために、地域資源を活用し、稼ぐ力に。自主財源を増やし自立したまちを目指します。

- 東郷駅周辺を中心とした西部地区の活性化と民間活力の活用
- 日の里団地再生と民間主体で地域の魅力を向上する取組の支援
- 観光で地域全体が稼ぎ、経済効果と雇用促進で地域産業の活性化
- 創業支援と事業・技術の継承、女性活躍の場の創出



もっと! 詳しく! は  
こちら

18号  
を見る

20号  
を見る

23号  
を見る

24号  
を見る

28号  
を見る

### Go! NEWS!!

古来、宗像は和の精神で人が共存し自然と調和する豊かな精神性が息づき、宗像人の謙虚なやさしさを土壌に、地域特性が育ってきました。現在、少子高齢化により社会の常識や経済の前提は崩れ、大きな変化を求められています。地方が持続するには自治体間の競争で勝ち抜き、自立する必要があります。未来に向けて、宗像の特性をアイデンティティとして確立する。その誇りを胸に協力し、時代の荒波を乗り越える姿を「新しい宗像」としてビジョンを示し、GO! 剛! ニュースで伝えてきました。新しい宗像はアフターコロナの世界の道標となります。市民のみなで、企業・行政と力をあわせ、ワンチームで創っていきましょう。

クリックすると内容をご覧いただけます。



吉田 とう  
プロフィール

スポーツで輝く  
まちづくり

子どもが輝く  
まちづくり

未来が輝く  
まちづくり



### スポーツで輝くまちづくり

スポーツの力で健康と生きがいづくりを。  
みんなが幸せで豊かな生活を営めるまちをつくります。

- 障がい者スポーツの普及啓発で誰もが助け合うやさしいまちに
- スポーツコミッション・スポーツ観光を推進し、稼ぐ力に
- ラグビータウンむなかたを実現し、未来への贈り物に
- 高齢者が元気でいきいきした生活を送る環境づくり



もっと!  
詳しく!は  
こちら

	18号 を見る
	19号 を見る
	22号 を見る
	25号 を見る
	27号 を見る

### GO! NEWS!!

古来、宗像は和の精神で人が共存し自然と調和する豊かな精神性が息づき、宗像人の謙虚なやさしさを土壌に、地域特性が育ってきました。現在、少子高齢化により社会の常識や経済の前提は崩れ、大きな変化を求められています。地方が持続するには自治体間の競争で勝ち抜き、自立する必要があります。未来に向けて、宗像の特性をアイデンティティとして確立する、その誇りを胸に協力し、時代の荒波を乗り越える姿を「新しい宗像」としてビジョンを示し、GO! NEWS!! ニュースで伝えてきました。新しい宗像はアフターコロナの世界の道標となります。市民のみなで、企業・行政と力をあわせ、ワンチームで創っていきましょう。

クリックすると内容をご覧いただけます。



▲ ページトップ

吉田 とう  
プロフィール

スポーツで輝く  
まちづくり

子どもが輝く  
まちづくり

未来が輝く  
まちづくり



### 子どもが輝くまちづくり

歴史文化から学び、自ら考え、行動する環境づくり。  
経験機会を増やし強い心と体を育てます。

- 世界に羽ばたくグローバル人材の育成
- 学校・家庭・地域が協力し育てるコミュニティスクールの推進
- ICT教育でいつでも・どこでも・だれでも学べる環境整備
- 郷土の誇りを育てる世界遺産学習の充実



もっと!  
詳しく!は  
こちら



22号  
を見る



23号  
を見る



28号  
を見る

### GO! NEWS!!

古来、宗像は和の精神で人が共存し自然と調和する豊かな精神性が息づき、宗像人の謙虚なやさしさを土壌に、地域特性が育ってきました。現在、少子高齢化により社会の常識や経済の前提は崩れ、大きな変化を求められています。地方が持続するには自治体間の競争で勝ち抜き、自立する必要があります。未来に向けて、宗像の特性をアイデンティティとして確立する。その誇りを胸に協力し、時代の荒波を乗り越える姿を「新しい宗像」としてビジョンを示し、GO! NEWS!! ニュースで伝えてきました。新しい宗像はアフターコロナの世界の道標となります。市民のみなんで、企業・行政と力をあわせ、ワンチームで創っていきましょう。

クリックすると内容をご覧いただけます。



▲ ページトップ

吉田 ござう  
プロフィール

スポーツで輝く  
まちづくり      子どもが輝く  
まちづくり

未来が輝く  
まちづくり



### 未来が輝くまちづくり

古来の豊かな精神性を温め、新しい宗像を創ります。

- 観光地域づくりの舵取り役となるDMO、コロナ後の観光ブランディングを推進
- 自然を敬い守り続けた環境意識でSDGs達成
- 防災・防犯・感染症対策を充実し、安全安心なまちづくり
- 多様性を受け入れ共に生きていく社会の実現



もつと!  
詳しく!は  
こちら

	21号 を見る
	25号 を見る
	26号 を見る
	28号 を見る

### GO! NEWS!!

古来、宗像は和の精神で人が共存し自然と調和する豊かな精神性が息づき、宗像人の謙虚なやさしさを土壌に、地域特性が育ってきました。現在、少子高齢化により社会の常識や経済の前提は崩れ、大きな変化を求められています。地方が持続するには自治体間の競争で勝ち抜き、自立する必要があります。未来に向けて、宗像の特性をアイデンティティとして確立する。その誇りを胸に協力し、時代の荒波を乗り越える姿を「新しい宗像」としてビジョンを示し、GO! NEWS!! ニュースで伝えてきました。新しい宗像はアフターコロナの世界の道標となります。市民のみなで、企業・行政と力をあわせ、ワンチームで創っていきましょう。

クリックすると内容をご覧いただけます。





(様式3)

## 政務活動費旅費計算書

《調査研究費の旅費請求に使用する》

請求者氏名	吉田 剛	用 件	① 国土交通省・文部科学省レク ② 農林水産省レク ③ 厚生労働省・こども家庭庁レク
日 程	1月17日 ~ 1月19日 (3日間)		
用 務 地	① 衆議院会館 ② 衆議院会館 ③ 衆議院会館		
交通手段	■公共交通機関    □私用車    □その他		
パック料金	航空券代+ホテル代 (2泊2食)		69,800 円
控除額	朝食代 (@900) × 2		-1,800 円
鉄道賃	東郷 ~ 福岡空港 (往復)		1,660 円
鉄道賃	羽田空港 ~ 永田町		660 円
鉄道賃	永田町 ~ 東銀座		180 円
鉄道賃	東銀座 ~ 永田町 (往復)		360 円
鉄道賃	東銀座 ~ 永田町		180 円
鉄道賃	永田町 ~ 羽田空港		660 円
車賃	車走行距離 キロ × 37 円		円
合計			71,700 円

※航空券+宿泊代をパック料金として計上

※パックには朝食2回が付いていたので、その食事代を控除する

1. 宗像市職員旅費運用による。
2. 請求者氏名、日程、用務地、用件、交通手段に必要事項を記入し事務局へ提出する。

# 領 収 書

:04-036886-033

24年01月26日

現金 小切手 振 込  
カード コンビニ

吉田剛 様

金額 ¥70,800.-

上記金額正に領収いたしました  
但し、視察旅費

10%対象計	¥70,800	内税	¥6,437
8%対象計	¥0	内税	¥0
非課税対象計	¥0		



福岡市博多区博多駅前3-10-24 博多駅

ラド観光(株)

登録番号：T6120001071915

取扱者印

※金額を訂正したもの、社印なきものは無効とします。

2024/1/16

**宗像市議会 宗像志政クラブ 様**

ラド観光株式会社 福岡支店  
 観光庁長官登録第一種旅行業第1650号  
 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-10-24  
 博多駅前藤井ビル2階  
 TEL (092) 432-1860  
 FAX (092) 432-1908

□方面	東京
□期間	2024年1月17日(水)～19日(金)
□人員	8名

この度は、見積書提出の機会を賜り厚く御礼申し上げます。  
 御見積を下記のように提出致しますので、よろしくお願い申し上げます。

種別	区間	運賃(料金含む)	人員台数	小計	地名・施設名	料金	人員	小計
交通費	航空券+宿泊(2泊2朝付)	福岡=羽田(往復)	69,800	8	558,400			0
		都内(2泊2朝付)			0			0
					0			0
					0			0
					0			0
					0			0
					0			0
交通費計(A)					558,400	拝観入場料計(D)		
宿泊費	月/日( )	旅館・ホテル名	条件	料金	人員	小計	その他費用	
	1/17(水)	ホテルグレイスリー銀座	1泊朝食付・1名一室 (セット料金を含む)	0	8	0	国内旅行傷害保険	500 8 4,000
	1/18(木)	ホテルグレイスリー銀座	1泊朝食付・1名一室 (セット料金を含む)	0	8	0	有料道路・駐車場(概算)	0 0 0
						0	添乗員経費(同行しません)	0 0 0
						0	乗務員昼食代	0 0 0
宿泊費計(B)					0	その他費用計(E)		
食事・弁当	月/日( )	場所・施設名	内容	料金	人員	小計	その他費用	
	1/17(水)～1/19(金)	昼食3回・夕食2回	各自で	0	8	0	取扱手数料	
食事・弁当代計(C)					0	500 8 4,000		
						お一人様旅行代金 (8名様あたり)		¥70,800
						ご旅行代金総額 (A+B+C+D+E)		¥566,400

・上記代金は、見積作成日現在で計算されておりますので、運賃料金改定の場合には変更させて頂く場合がございます。  
 ・ご参加人員が変更された場合には、代金を改定させて頂く場合がございます。  
 ・交通費及び参観・入場料は、2022年 11月 15日現在の運賃料金を基礎としております。

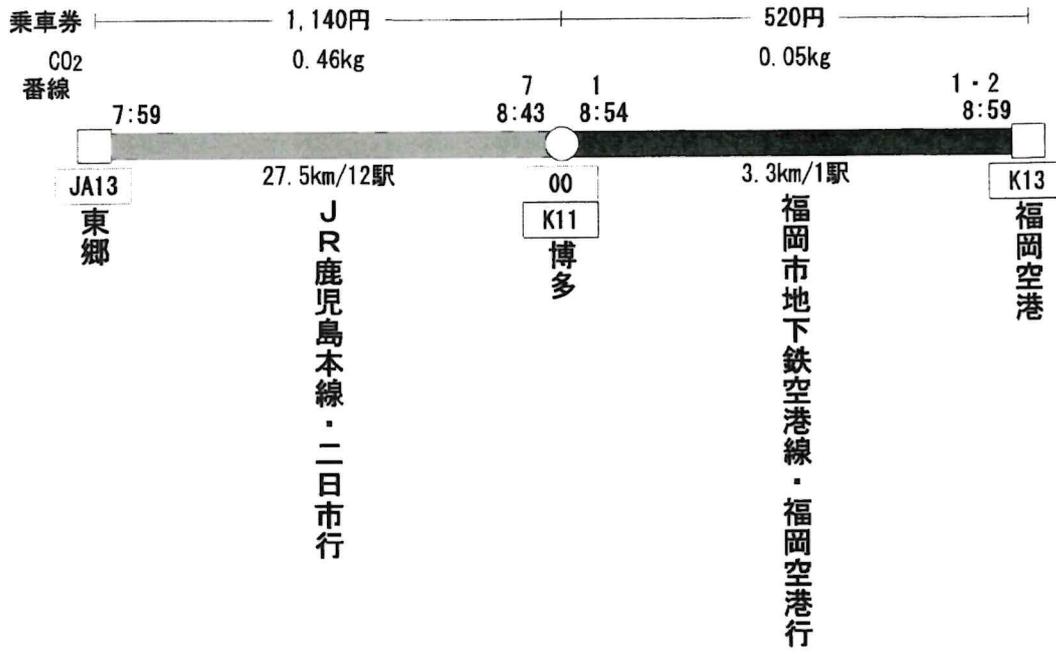
東郷 → 福岡空港

探索順 第1/5経路

出発日 2024年 1月17日(水)  
所要時間 1時間 (乗車49分 他11分)  
往復金額 1,660円

乗り換え 1回 距離 30.8km

CO<sub>2</sub>排出量 0.52kg (🚗 4.0kg)



羽田空港第1・第2ターミナル → 永田町

探索順 第1/5経路

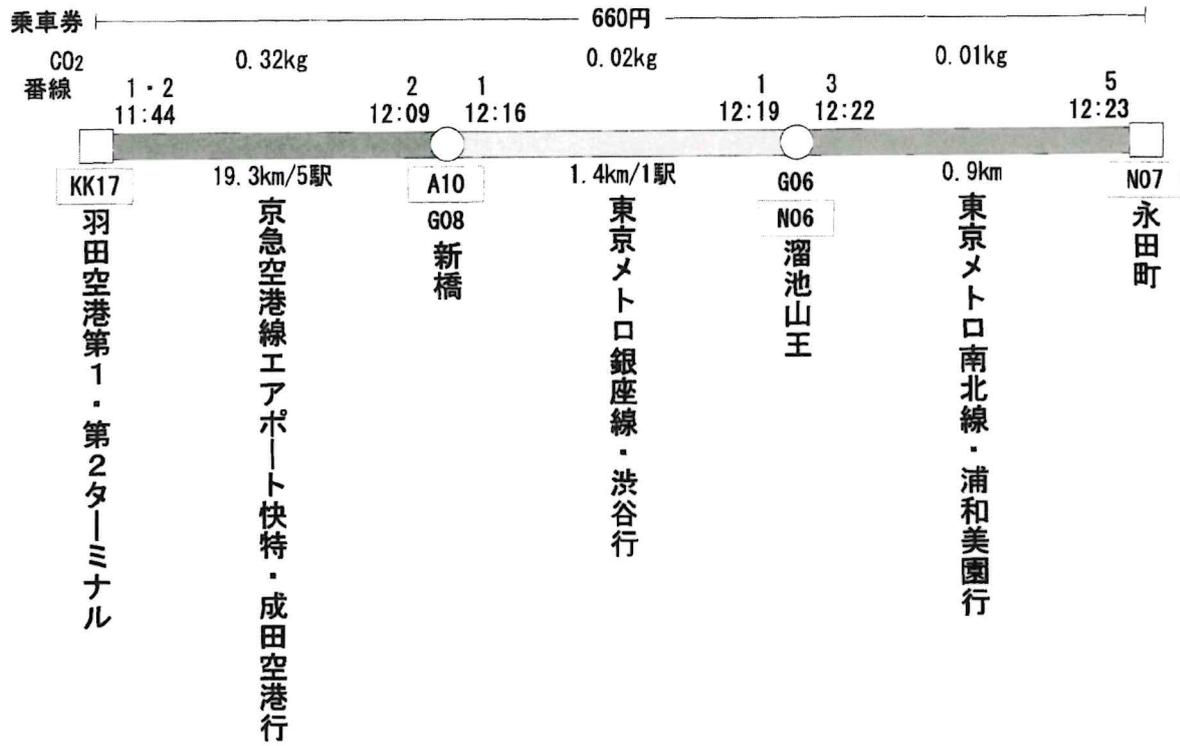
出発日 2024年 1月17日(水)

乗り換え 2回 距離 21.6km

所要時間 39分 (乗車29分 他10分)

片道金額 660円

CO<sub>2</sub>排出量 0.36kg (🚗 2.8kg)



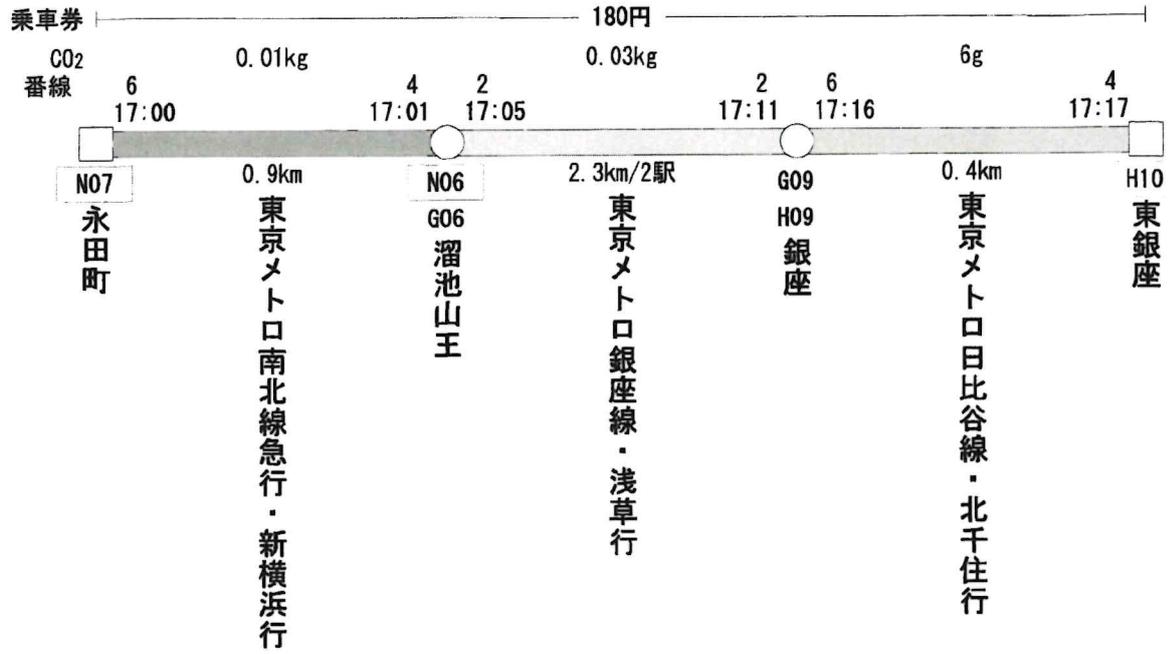
永田町 → 東銀座

探索順 第4/5経路

出発日 2024年 1月17日(水)  
所要時間 17分 (乗車8分 他9分)  
片道金額 180円

乗り換え 2回 距離 3.6km

CO<sub>2</sub>排出量 0.06kg (🚗 0.46kg)



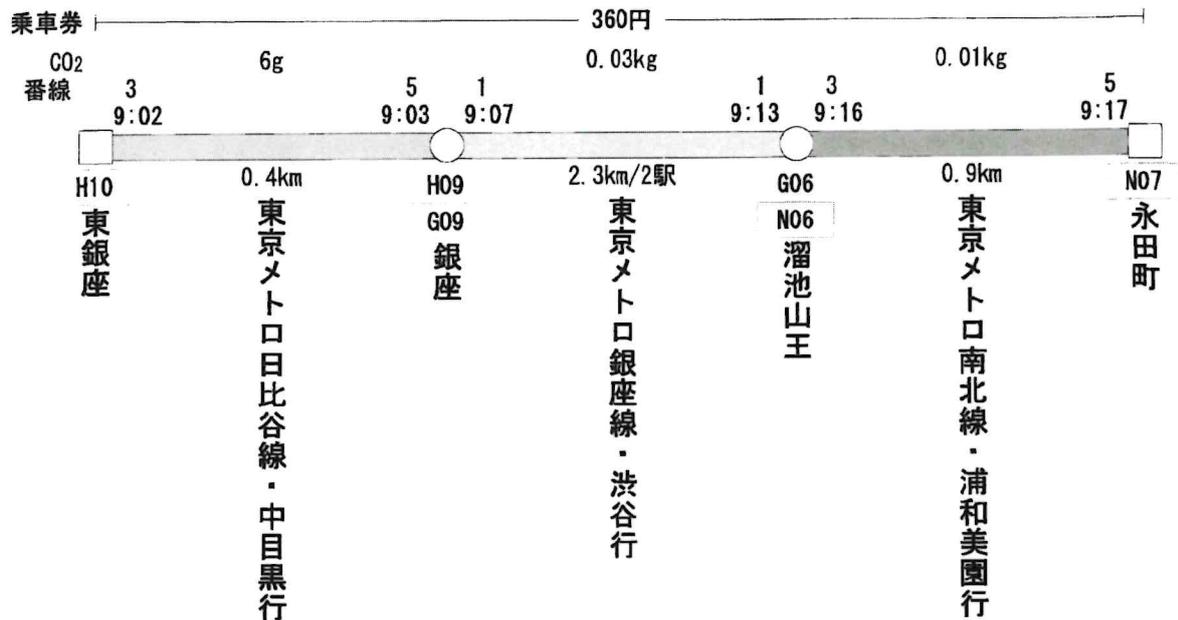
東銀座 → 永田町

探索順 第2/5経路

出発日 2024年 1月18日(木)  
所要時間 15分 (乗車8分 他7分)  
往復金額 360円

乗り換え 2回 距離 3.6km

CO<sub>2</sub>排出量 0.06kg (🚗 0.46kg)



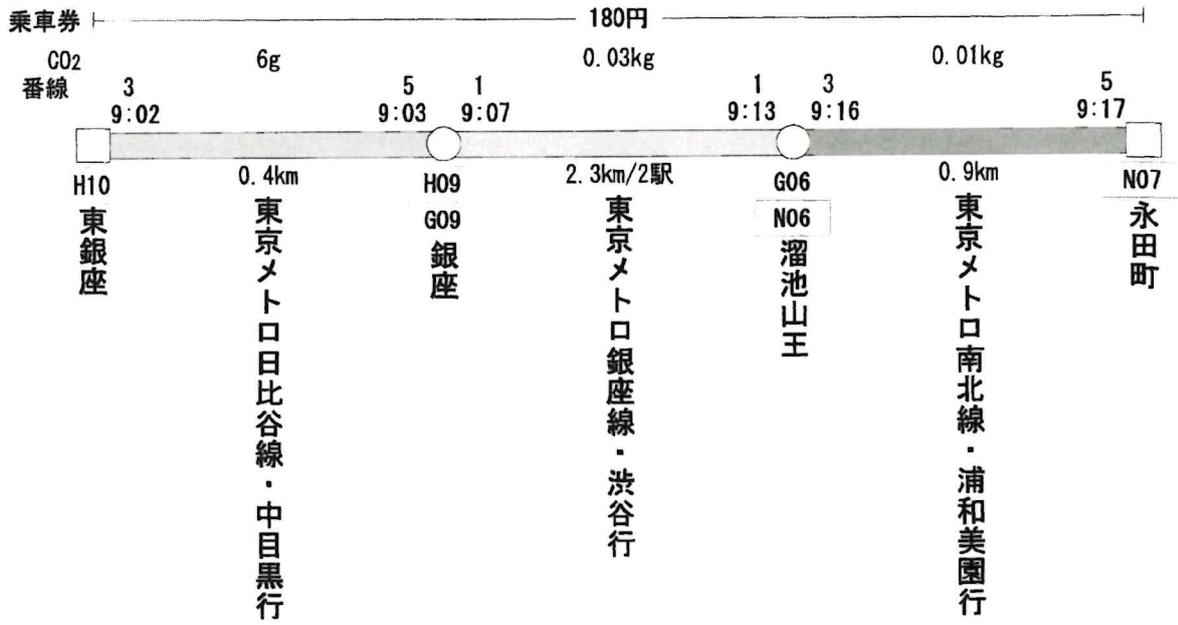
東銀座 → 永田町

探索順 第2/5経路

出発日 2024年 1月19日(金)  
所要時間 15分 (乗車8分 他7分)  
片道金額 180円

乗り換え 2回 距離 3.6km

CO<sub>2</sub>排出量 0.06kg (🚗 0.46kg)



永田町 → 羽田空港第1・第2ターミナル

探索順 第2/5経路

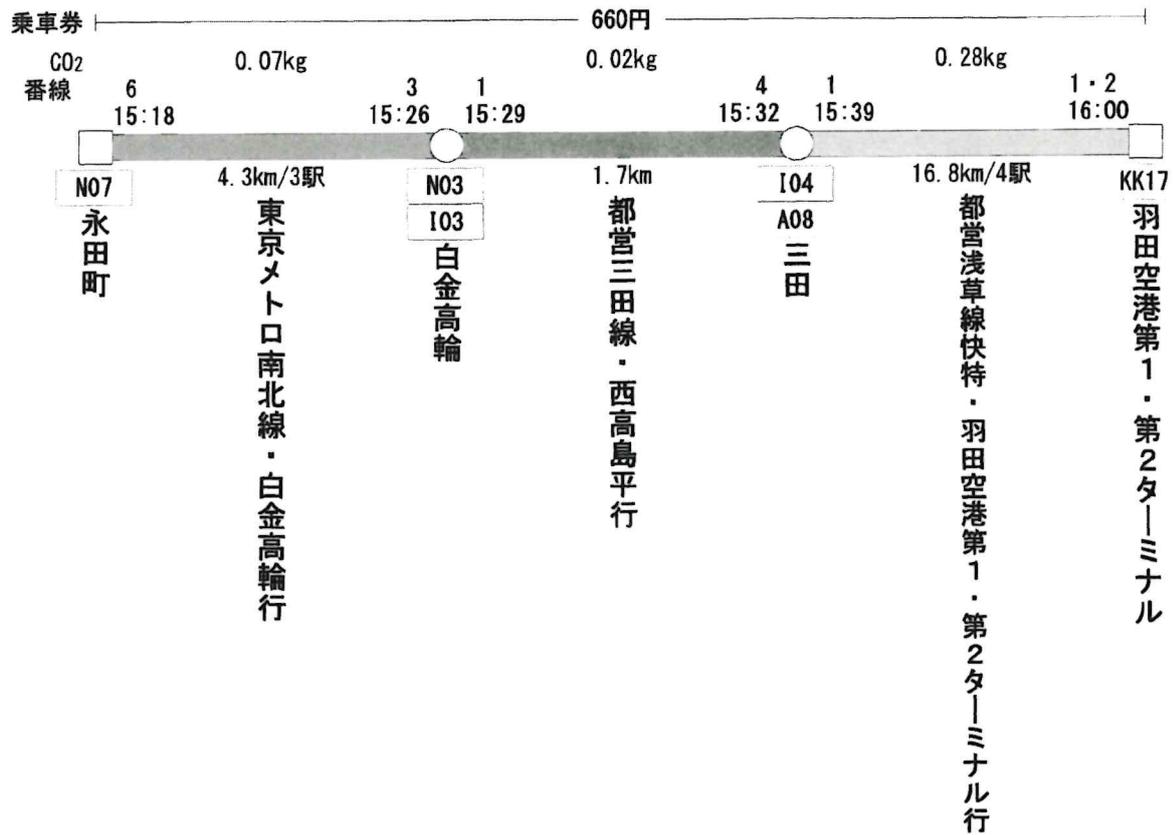
出発日 2024年 1月19日(金)

乗り換え 2回 距離 22.8km

所要時間 42分 (乗車32分 他10分)

片道金額 660円

CO<sub>2</sub>排出量 0.38kg (乗車 2.9kg)



様式2

視察・研究研修会・会議等概要報告書

宗像市議会議員 吉田 剛

項目	<input type="checkbox"/> 1 研修開催費 <input checked="" type="checkbox"/> 2 調査研究費 <input type="checkbox"/> 4 広報及び広聴費		
名称	団地再生・公共交通について		
分類	<input checked="" type="checkbox"/> 視察 <input type="checkbox"/> 研究研修会 <input type="checkbox"/> 会議 <input type="checkbox"/> 報告会 <input type="checkbox"/> その他(        )		
日程	令和6年1月17日(水)		
時間	14:30 ~ 15:40	場所	衆議院会館
概要	<p>① 団地再生について (UR都市機構ストック事業推進部) より</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 団地再生事業の概要について           <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 国内1444団地 (約70万戸) 団地ごとに類型化</li> <li>(2) スtock再生の団地については手法を複合的・選択的に実施し地域の特性に応じた機能を導入する団地再生事業として実施</li> </ol> </li> <li>2. 団地再生事業 (集約) の流れ・・・住民の移転が大きなポイント           <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 計画概要説明会 (事前に地域行政と協議)</li> <li>(2) 説明会・・・移転のお願い (二年間)</li> <li>(3) 移転期限</li> <li>(4) 解体工事・・・日の里一丁目はこの段階</li> <li>(5) 居住者の利便性向上</li> <li>(6) 団地・地域の魅力向上</li> </ol> </li> <li>3. 土地利用計画・事業進捗の説明           <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 日の里団地・・・1533棟→1257棟、集約事業完了、民間譲渡済み</li> <li>(2) 日の里一丁目・・・103.104号棟→解体工事→民間による活用公募</li> </ol> </li> <li>4. UR都市機構のペット共生住宅           <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 住宅公団当時はペットNG。平成13年からペット共生住宅を導入</li> <li>(2) ペット共生住宅は後から変えることは難しさがある</li> <li>(3) 施設の説明</li> </ol> </li> </ol> <p>②公共交通について (国土交通省)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「自動運転」について (技術・環境政策課) より           <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 意義、現状と目標</li> <li>(2) 福井県永平寺町無人運転移動サービス</li> <li>(3) 政府の推進体制</li> <li>(4) レベル4に向けた技術・安全対策</li> </ol> </li> <li>2. 「高齢者免許返納対策」について (旅客課) より 高齢者に対する公共交通を利用する際の割引を行う地方公共団体に支援を行う</li> <li>3. 「JR等への私鉄支援策」について (鉄道サービス政策室) より 利用者の声を踏まえて、利便性が確保できるように働きかける</li> </ol>		
所感	<p>「団地再生」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 団地再生事業の集約には非常に時間がかかる。日の里1丁目団地の事業対象が103, 104号棟だけで一体的ではないことについて、段階的だとタイムラグができて時代の流れにのれないのでは、と質問したが、それは課題とのこと。</li> <li>② ペット共生住宅は全員の同意が必要とのこと、ハードルが高いと感じた。</li> </ol> <p>「公共交通」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① レベル4モビリティ・地域コミッティはランニングコストが課題と感じた。</li> </ol>		

様式2

視察・研究研修会・会議等概要報告書

宗像市議会議員 吉田剛

項目	<input type="checkbox"/> 1 研修開催費 <input checked="" type="checkbox"/> 2 調査研究費 <input type="checkbox"/> 4 広報及び広聴費		
名称	学校給食無償化の検討と展望について		
分類	<input checked="" type="checkbox"/> 視察 <input type="checkbox"/> 研究研修会 <input type="checkbox"/> 会議 <input type="checkbox"/> 報告会 <input type="checkbox"/> その他(        )		
日程	令和6年1月17日(水)		
時間	15:40 ~ 16:10	場所	衆議院会館
概要	<p>①文部科学省（初等中教育局 健康教育・食育課）より</p> <p>1. 学校給食の概要</p> <p>(1) 努力義務・・・設置者に給食の努力義務</p> <p>(2) 実施状況・・・国立、公立及び私立は令和3年5月現在、小99.0% 中91.5%</p> <p>(3) 経費の負担・・・食材費は保護者負担</p> <p>(4) 学校給食費・・・完全給食の平均月額、小4477円 中5121円</p> <p>(5) 経済的困窮者に対する支援・・・生活保護教育扶助（国3/4）要保護者への就学援助（国1/2）準要保護者への就学援助（地方財政措置）</p> <p>(6) 無償化の実施状況・・・平成29年時点76自治体、近年重点支援地方交付金の活用を通じて実施する自治体が増加</p> <p>2. 子ども未来戦略では、無償化の実現に向けて、まず、取り組み実態や成果・課題の調査を行い令和5年6月13日から1年以内に公表することとなっており、その上で、課題の整理を丁寧に行い、具体的方策検討することとしている。</p> <p>3. 実態把握の観点</p> <p>(1) 児童生徒の公平性</p> <p>①学校給食自体を実施していない自治体があること</p> <p>②実施内容や実施方式に差異があること</p> <p>③アレルギー等により給食の提供を受けることができない児童生徒も存在すること</p> <p>(2) 学校給食費の水準</p> <p>①自治体・学校間で給食費平均月額に大きな乖離があること</p> <p>②実施内容の違いによって単価が異なること</p> <p>(3) 学校給食の負担</p> <p>①自治体・学校間で就学援助の対象者が異なること</p> <p>②自治体により設置者と保護者の間で負担の在り方が異なること</p> <p>これらの観点を踏まえ、書面調査を実施するとともに、調査結果を踏まえた上で、自治体等からのヒアリング等を実施する。</p> <p>4. 成果や課題の把握</p> <p>(1) 取り組み実態の調査</p> <p>①支援対象・要件、支援方法</p> <p>②実施主体・財源</p> <p>② ヒアリングなどを通じて実施スキームに応じた成果・課題を把握</p>		
所感	<p>日本各地の現状を聞くと、無償化を統一するのはかなりの時間がかかりそうだと感じた。公立のみで4600億円が毎年かかるのと、質のいい給食を維持するのは難しいのではないかと感じた。食育の面で特色をだすべきだと感じた。</p>		

様式2



様式2

視察・研究研修会・会議等概要報告書

宗像市議会議員 吉田 剛

項 目	<input type="checkbox"/> 1 研修開催費 <input checked="" type="checkbox"/> 2 調査研究費 <input type="checkbox"/> 4 広報及び広聴費		
名 称	農林水産について		
分 類	<input checked="" type="checkbox"/> 視察 <input type="checkbox"/> 研究研修会 <input type="checkbox"/> 会議 <input type="checkbox"/> 報告会 <input type="checkbox"/> その他(        )		
日 程	令和6年1月18日(木)		
時 間	14:30 ~ 15:40	場 所	衆議院会館
概 要	<p>① みどりの食料システム戦略について 農林水産省（農産局環境対策課）より</p> <p>1. みどりの食料システム戦略の概要について</p> <p>(1) 現状と今後の課題・・・農林水産業や地域の将来も見据えた持続可能な食料システムの構築が急務</p> <p>2. 有機野菜の取り組みの拡大について</p> <p>(1) 目標・・・2050年までにオーガニック市場を拡大しつつ、有機農業の取り組み面積を25%拡大</p> <p>3. 学校給食の取り組みについて</p> <p>(1) 有機食品を学校給食に利用している市町村は増加傾向</p> <p>(2) オーガニックビレッジにおける学校給食の取り組みは8割以上</p> <p>(3) 市町村事例説明</p> <p>(4) 有機農業関連予算概要</p> <p>モデル的先進地区の創出・・・オーガニックビレッジはR4年度55市町村→R5年度92市町村に増加。移住定住者、新規就農者も増加している。</p> <p>人材育成や需要喚起等を通じた現場の取り組みの推進</p> <p>グリーンな栽培体系への転換サポート・・・環境にやさしい栽培技術と省力化に資する先端技術等と取り入れたグリーンな栽培体系へ転換を推進</p> <p>有機農産物の販路拡大、新規需要開拓の推進</p> <p>※文部科学省、学校給食地場産物・有機農産物資料促進事業の説明</p> <p>② 田んぼダム（浸水対策）について 農林水産省（農地資源課）より</p> <p>1. 田んぼダムの仕組みについて</p> <p>誤解されやすいポイント「施設ではない」「排水路や河川から水田に水を引き入れるものではない」「作物の生産に影響を与えない範囲で農業者の協力を得て実施する取り組み」</p> <p>2. 政策的位置づけ、支援制度について</p> <p>3. 河川整備や遊水地のコストが課題</p> <p>③ 養殖業成長産業化の推進について 水産庁（増殖推進部栽培養殖課）より</p> <p>1. 動向・・・世界の養殖生産量は過去二十年間で約四倍に成長している</p> <p>2. 養殖業成長化産業化総合戦略について</p> <p>3. 今後の成長目標と方針について・・・天然く養殖</p>		
所 感	<p>「みどりの食料システム戦略」：オーガニックは町おこしにつながる。食のまち宗像としてオーガニックビレッジについて再考すべきと考えた</p> <p>「田んぼダム」：「数十年に一回の確率なんで気楽にやってください」という言葉が印象的だった。自然との対応はそういうものなのかもしれないと感じた。</p> <p>「養殖業」：宗像としてどこにマーケットを設定するか、が重要になると感じた。</p>		

様式2



様式2

視察・研究研修会・会議等概要報告書

宗像市議会議員 吉田 剛

項 目	<input type="checkbox"/> 1 研修開催費 <input checked="" type="checkbox"/> 2 調査研究費 <input type="checkbox"/> 4 広報及び広聴費		
名 称	労働局との雇用対策協定について		
分 類	<input checked="" type="checkbox"/> 視察 <input type="checkbox"/> 研究研修会 <input type="checkbox"/> 会議 <input type="checkbox"/> 報告会 <input type="checkbox"/> その他(        )		
日 程	令和6年1月19日(金)		
時 間	10:00 ~ 10:40	場 所	衆議院会館
概 要	<p>① 雇用対策協定について 厚生労働省（職業安定局）より</p> <p>1. 雇用対策における国と地方公共団体等との連携について</p> <p>(1) 国（ハローワーク）と地方公共団体、民間ビジネスにはそれぞれの「役割」と「強み」があり、それぞれ「補完」しあいながら、一体となって雇用対策を進めることで、外部労働市場全体としてマッチング機能の最大化を図るとともに、住民サービスのさらなる強化を目指すことが重要。</p> <p>(2) 雇用対策協定締結数 47都道府県209市22町1村が締結済み</p> <p>(3) 雇用対策協定で実現できること</p> <p>①これまでの連携方法を整理・見える化 ②定期的な運営協議会とPDCA化 ③適切な役割分担による行政資源の効率化 ④地域の雇用対策への前向きな姿勢のPR</p> <p>2. 三重県の取り組みについて</p> <p>(1) 三重県</p> <p>①障がい者雇用推進企業ネットワークの活用や各種セミナーの実施により障がい者雇用の拡大を推進 ②障がい者は働くステップアップカフェの活用などにより障がい者雇用についての企業や県民の理解を促進 ③障がい者の短時間雇用や施設外就労などを普及・啓発し多様で柔軟な働き方を推進 ④アドバイザーの派遣や拠点利用の案内などにより、障がい者のテレワークの普及を促進</p> <p>(2) ハローワーク</p> <p>①企業を対象とした障がい者雇用状況に関するアンケートを実施し、個々の企業に寄り添った提案・指導 ②法定雇用率未達成企業及び公的機関に対する訪問指導及び集団指導 ③障がい者就職面接会・説明会、未達企業向けの雇用促進セミナー等の開催 ④障がい者就業・生活支援センターや障がい者職業センターとの連携により障がい者の定着支援まで一貫して行うチーム支援の推進 ⑤職場定着支援の一環として「精神発達障害者しごとサポーター養成講座」を開催</p> <p>(3) 効果・・・民間企業による障がい者実雇用率上昇</p>		
所 感	<p>一般の人は民間の就職斡旋業など多様な受け皿があるが、ハローワークはグレーゾーンの就職しにくい人が集まる傾向がある。ハローワークの障がい者雇用が非常に増える傾向になると思うので、本市が県立特別支援学校を中心にした対応を各方面にまとめて行うべきと感じた。</p>		

様式2



様式2

視察・研究研修会・会議等概要報告書

宗像市議会議員 吉田剛

項目	<input type="checkbox"/> 1 研修開催費 <input checked="" type="checkbox"/> 2 調査研究費 <input type="checkbox"/> 4 広報及び広聴費		
名称	子ども家庭庁(放課後デイサービス、養育費の確保)		
分類	<input checked="" type="checkbox"/> 視察 <input type="checkbox"/> 研究研修会 <input type="checkbox"/> 会議 <input type="checkbox"/> 報告会 <input type="checkbox"/> その他(        )		
日程	令和6年1月19日(金)		
時間	10:40 ~ 12:00	場所	衆議院会館
概要	<p>①放課後等デイサービスの方向性について 子ども家庭庁(支援局障害児支援課)</p> <p>1. 放課後等デイサービスの概要について</p> <p>2. 現状について</p> <p>(1) 令和4年度の費用額は約4,669億円であり、障がい福祉サービス等全体の総費用額の13.7%、障がい児支援全体の総費用額の67.0%を占める。</p> <p>(2) 令和4年度の一人当たり費用月額(一月平均)は、126,857円となっている。</p> <p>3. 現状・課題・方向性について</p> <p>(1) 児童発達支援・放課後等デイサービスにおいては、本人への5領域(「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間性・社会性」)を全て含めた総合的な支援を行うことにより、包括的かつ丁寧に発達段階をみていくことが重要。</p> <p>(2) 「障害児通所支援に関する検討会」において総合的な支援の推進と特定領域への支援評価が協議されている</p> <p>(3) 基本報酬の議論について、支援に対する人員の配置状況や支援の内容などに留意しつつ、支援時間の長短を考慮したよりきめ細かい評価を行うことが必要とされている。</p> <p>(4) 支援の質の向上のために、運営基準等において実施方法を明確化し、運用の標準化の徹底を図ることが必要であるとされている。</p> <p>②ひとり親家庭等への支援策について(子ども家庭庁支援局家庭福祉課)より</p> <p>1. 子どもの貧困率(ひとり親世帯)の推移・・・新基準ではR3年 44.5%</p> <p>2. 国際比較・・・OECD36カ国中32位と極めて高い状況</p> <p>3 母子家庭の86.3%が就業。 「非正規率の割合が高いので、より収入の高い就業を可能にするための支援が必要」</p> <p>4. 養育費受領率・・・R3年28.1%→R13年目標40%</p> <p>5. 子ども未来戦略(R5年12月22日閣議決定)</p> <p>(1) 全ての子ども・子育て世帯を対象とする支援の拡充 「子育て・生活支援」・・・相談窓口の設置、生活支援強化、子どもの居場所支援 「就業支援」・・・ひとり親の資格取得支援、高等職業訓練促進給付金 「養育費確保支援」・・・親子交流支援事業、離婚前後親支援 「経済的支援」・・・児童扶養手当、所得限度額の引き上げ、多子加算の拡充などの四本柱</p> <p>※令和6年度予算案ではひとり親支援にかかる事業の対象者要件の見直しを計上</p>		

## 様式2

所 感	<p>「放課後等デイサービス」：近隣の都市でも利用日数の上限は差があり、国としてガイドラインを細かく設定し、平等性を担保すべきではないか、と質問したが、「国は制限をかけない。各都市間の判断に任せる」とのこと。今後の傾向として質の管理、人材確保が重要だと感じた。</p> <p>「ひとり親家庭等」：ひとり親家庭の現状は厳しい。どのような家庭環境でも生活を安定させ就学の窓口を用意するのは大人の責任だと感じた。現場での経験ある職員によるフレキシブルなサポートが重要。自治体がどういうプライオリティでこども施策を行うか、この問題に取り組んでいくことを決意した。</p>
-----	---

第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州

令和5年10月25日

吉田 剛 様

参加費領収書

東京都千代田区平河町2-4-2

第18回全国市議会議長会研究フォーラム

委員長

金9,000円 (不課税・消費税対象外)

第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州の参加費として

令和5年10月25日・26日開催 (北九州市)

様式2

視察・研究研修会・会議等概要報告書

宗像市議会議員 吉田 剛

項目	<input type="checkbox"/> 1 研修開催費 <input checked="" type="checkbox"/> 2 調査研究費 <input type="checkbox"/> 4 広報及び広聴費		
名称	第18回全国市議会議長会研究フォーラム		
分類	<input type="checkbox"/> 視察 <input checked="" type="checkbox"/> 研究研修会 <input type="checkbox"/> 会議 <input type="checkbox"/> 報告会 <input type="checkbox"/> その他(        )		
日程	令和5年10月25日(水)		
時間	13:00 ~ 16:50	場所	西日本総合展示場 新館
概要	<p>●第1部基調講演「躍動的でワクワクする市議会に」          【片山 善博 氏（大正大学教授兼地域構想研修所長）の講演】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方議会をめぐる現状とこれまでの地方議会改革を検証する中で、税金に係る議論が全くなされていないことに気付かされた。地方において、固定資産税や住民税の税率の上げ下げの議論がなされていなく、直接影響を受ける地方こそ議論の必要性を確認できた。</li> <li>・地方議会における市民の関心の低さは、議場における議論が展開されていないことを指摘された。住民の声を取り入れるためには、委員会において市民を参加させ、意見を言える場づくりが必要であり、公聴会ではなく「市民の意見を聞く会」等の条例の制定を考慮することも考えるべきとの事だった。</li> <li>・執行部の意見をそのまま受け入れずに、ちゃんと裏を取ることも重要である。</li> </ul> <p>●第2部パネルディスカッション「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方議会における住民の関心が低いことは、住民自治の危機だと考えることが重要で、地方自治法改正の意義であると問題提起があった。統一地方選挙における投票率は、例えば市議会議員選挙の平均では、昭和26年90.56%、昭和58年75.25%、平成11年61.1%、平成31年45.54%と半分以下にまで下がっている現状がある。</li> <li>・議員のなり手不足の課題の中にはハラスメントを受けた問題もあり、立候補を検討中、または立候補準備中に、全体の61.8%、男性58%、女性65.5%、また、議員活動中や選挙活動中に全体の42.3%、男性32.5%、女性57.6%との現状を認識した。ハラスメントの中には、不審な電話、罵倒や叱責、また、票ハラスメントに繋がる事例も多くある。</li> </ul>		
所感	<p>市議会にワクワクやドキドキは必要ないと感じた。議員個人の素質と、その議会独自の歴史をしっかりと体感して、それぞれがオリジナリティを大切にしていくべきと感じた。</p> <p>劇場型やポピュリズムは見た目は面白いと思うが本質的なものではなく、派手ではなくても、歴史をふまえて地に足の着いた市議会を評価してもらえるように、今後努力をしていきたい。</p>		